

令和 6 年 度

若 手 教 員 研 修  
( 3 年 目 研 修 )

研 修 の 手 引 き

福 井 県 教 育 委 員 会

勤務校	職名
氏名	

## 目 次

1	実施要項	1
2	授業実践研究	2
3	各研修の受講について	2
4	提出書類等	3
	校外研修の記録・報告書	3
	諸届	4
	レポート	4
○	福井県教員育成指標	5

### 研修についての問合せ先

○福井県教育総合研究所 教職研修センター  
TEL(0776)58-2160      3年目研修専用 E-mail wakate3@fec.fukui-c.ed.jp

○福井県特別支援教育センター  
TEL(0776)53-6574      E-mail tokuse03@pref.fukui.lg.jp

○福井県教育庁嶺南教育事務所  
TEL(0770)56-1302

# 1 実施要項

## 1 目的

専門的な教科指導力と授業力の向上を図るとともに、時代に即した教育課題に取り組み、変化への対応力を育む。

## 2 実施主体

福井県教育委員会

## 3 実施期間

実施期間は令和6年度の1年間とする。

## 4 対象者

- (1) 令和4年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教諭で、2年目研修を受講した者とする。ただし、養護教諭および栄養教諭は除く。
- (2) 当該年度に長期の休暇（休業）を取得することがすでに明らかな場合は、原則として休暇（休業）明けに受講すること。なお、年度途中で長期の休暇（休業）を取得することになった場合は、受講可能な研修を受講し、残りは休暇（休業）明けに受講することとする。いずれの場合も、休暇（休業）からの復帰時期によっては、翌年度の受講となる。

## 5 実施計画

コード№	育成指標分類	研修名（研修内容）	実施日時・会場等	備考
—	—	「令和の日本型学校教育」を担う 教師の学び 研修ガイダンス	下記3日のうち指定日に受講	
223	生徒指導	学級運営② (個別の課題に対する理解と支援)	5月9日(木) 嶺南教育事務所	p.2 ③ 参照
251	学習指導	校種別研修	5月10日(金) 教育総合研究所	
215	学習指導	授業実践研究Ⅳ (授業実践研究の深め方)	5月15日(水) 教育総合研究所	
261b	学習指導 連携・協働	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目の クロスセッション)	【小・中・高等学校】 下記6日のうち1日選択 10月17日(木) 嶺南教育事務所 22日(火) あいばーく今立(越前市) 31日(木) 教育総合研究所 11月1日(金) 教育総合研究所 6日(水) 教育総合研究所 7日(木) 教育総合研究所 【特別支援学校】 下記3日のうち1日選択 10月31日(木) 特別支援教育センター 11月7日(木) 特別支援教育センター 14日(木) 特別支援教育センター いずれも 9:30～16:00	p.2 ② 参照
262	学習指導 連携・協働	教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅の クロスセッション)	下記6日のうち1日選択 1月23日(木) 教育総合研究所 24日(金) 嶺南教育事務所 28日(火) 教育総合研究所 30日(木) あいばーく今立(越前市) 2月5日(水) 教育総合研究所 6日(木) 教育総合研究所 いずれも 13:30～16:30	p.2 ② 参照
G213	マネジメント	通信型研修 「学級づくりシリーズⅢ」	8月23日(金) までに受講	p.3 参照
G230	素養	通信型研修「人権教育」	9月20日(金) までに受講	p.3 参照

## 2 授業実践研究

授業力向上のためには実践と省察を継続して行う必要がある。年間を通してのテーマを設定し、「実践」―「省察」―「記録」―「実践研究の共有」という「授業実践のサイクル」を回しながら、実践を進めていく。自己の実践の成果や課題を明らかにしながら、それをもとに実践の改善を図り、省察の実践力を高める。

初任者研修の実践での成果や課題を踏まえ2年目研修の実践テーマを、同様に、2年目研修の実践での成果や課題を踏まえ3年目研修の実践テーマを設定することにより、系統性のある研修とする。3年目研修では、初任から取り組んできた授業実践研究を継続し、若手教員研修3年間の集大成とすることを研修の軸とする。

### 1 授業実践研究Ⅳ コードNo. 215（5月）

校種や教科に合わせたグループ構成とし、「授業実践研究の概要（案）」をもとに今年度の授業実践研究の深め方について協議する。

### 2 授業実践研究の共有（クロスセッション）コードNo. 261b（10、11月）、教育実践研究の共有（クロスセッション）コードNo. 262（1、2月）

10、11月〔初任者、2年目、3年目〕でのクロスセッション

「授業実践研究の中間まとめ」をもとに校種や教科に合わせたグループ協議を通じて、専門的な力量を形成する。

1、2月〔初任者、3年目、中堅教諭〕でのクロスセッション

「授業実践研究のまとめ」をもとに校種や教科を超えたグループ協議を通じて、他者の視点を意識し、視野を広げる。

## 3 各研修の受講について

### 〔研修資料のダウンロードについて〕

研修資料は、研修日の2日前から教育総合研究所ホームページ→「P l a n t」→「研修申込状況」→「【3年目研修】No.〇〇〇」→「格納資料一覧」よりダウンロードが可能となる。当日は、印刷して持参するか、各自の端末で閲覧できるようにしておく。

※詳しくは「P l a n t」TOP画面に掲載予定の「マニュアル」を参照

### 1 学級経営②、校種別研修、授業実践研究Ⅳ（コードNo. 223、251、215）

#### (1) 期日・会場

嶺南小・中学校勤務者	5月9日（木）	嶺南教育事務所
嶺北中学校、高等学校、特別支援学校勤務者	5月10日（金）	教育総合研究所
嶺北小学校勤務者	5月15日（水）	教育総合研究所

#### (2) 当日の日程

受付 9:00～9:20 研修 9:30～16:00

#### (3) 当日の準備物

- ・若手教員研修（3年目研修）の手引き
- ・レポート「授業実践研究の概要（案）」7部（両面印刷）
- ・名札
- ・学級運営指導書「通うのが楽しい学級づくり」
- ・「令和5年度 2年目研修 教育実践研究 最終報告レポート集」（特別支援学校勤務者のみ）

#### (4) 授業実践研究に関する調査

担当学年等について次のURLまたはQRコードから回答する。

〔URL〕 <https://forms.gle/LToHprABSVzePbTh9>

【回答締切】令和6年4月22日（月）



2 授業実践研究の共有（クロスセッション）コード No. 261b（10, 11 月）、教育実践研究の共有（クロスセッション）コード No. 262（1、2月）

(1) 当日の日程

受付 13:00～13:20 研修 13:30～16:30

(2) 当日の準備物

No. 261b：レポート「授業実践研究の中間まとめ」7部、内履き（あいぱーく今立のみ）

No. 262：レポート「授業実践研究のまとめ」7部、内履き（あいぱーく今立のみ）

(3) 受講希望日の調査について

受講希望日（第1希望、第2希望）について、次のURLまたはQRコードから回答すること。（事前に行事予定を確認し、管理職と相談）

【URL】 <https://forms.gle/KUswjVJE4XQyz8cMA>

なお、受講決定日は、研究所から別途文書で通知する。

【回答締切】 令和6年5月31日（金）



3 通信型研修（コード G213、G230）

教育総合研究所ホームページ「Plant」→「研修申込状況」→「【3年目研修】G213」「【3年目研修】G230」より動画を視聴後、「振り返り」を入力する。「振り返り」の内容を必ず「校外研修の記録・報告書」の概要・感想・成果の活用等に転記する。※コピー&ペーストが可能

コードNo.	内容（講座タイトル）	配信開始日	受講期限
G213	「学級づくりシリーズⅢ」	4月1日（月）	8月23日（金）
G230	「人権教育」	8月下旬	9月20日（金）

4 その他

教育総合研究所ホームページにある「研修・会議参加に際しての留意事項」を下記URLもしくは右のQRコードより確認して研修に臨むこと。

【URL】 <https://x.gd/6ISc0>



4 提出書類等

1 校外研修の記録・報告書（様式3）

様式は教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「基本研修・職務研修」からダウンロードして作成し、提出する。（作成したものは必ず管理職と共有すること。）

(1) 「校外研修の記録・報告書」の作成

毎回の研修終了後に受講日および会場、概要・感想・成果の活用等を入力する。

通信型研修は、受講後に受講日および概要・感想・成果の活用等を入力する。

※受講の方法や期限は上記の3「通信型研修」を参照。

(2) 提出方法

1年間の研修終了後、p.4 [提出経路] に従いデータを管理職を通じてメールにて提出する。

※延期願を提出した研修については、該当研修の欄に「次年度に延期」と入力する。

※年度途中で研修を受講できなくなった場合は、その時点での記録・報告書を提出する。

ファイル形式：PDF

ファイル名：【勤務校略称\_氏名（フルネーム）】3年目研\_記録・報告書

締切：市町小・中学校・・・・・・・・・・・・・・・・令和7年2月28日（金）

高等学校、県立中学校・・・・・・・・・・・・・・・・令和7年3月7日（金）

特別支援学校・・・・・・・・・・・・・・・・令和7年2月28日（金）

## 2 諸届

次のものは、事前に管理職を通じて担当機関に問い合わせた上で、必要に応じて校長が作成し、下記の提出経路に従ってデータをメールにて提出する。様式は、教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「共通様式」よりダウンロードする。提出時のファイル形式はPDFとする。

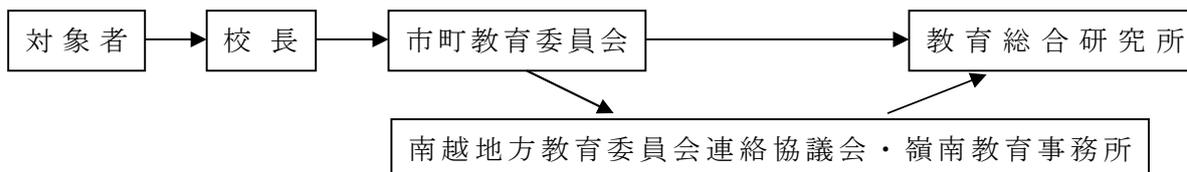
「欠席届」（共通様式1）・・・年度内に代替研修の受講が可能な場合

「延期願」（共通様式2）・・・受講が次年度以降になる場合

※特別支援教育センターに提出する場合は、宛名に「特別支援教育センター所長」も併記する。

### [提出経路]

#### ○ 市町小・中学校

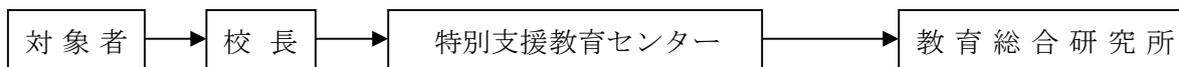


#### ○ 高等学校、県立中学校



送付先 wakate3@fec.fukui-c.ed.jp

#### ○ 特別支援学校



送付先 tokuse03@pref.fukui.lg.jp

## 3 レポート

様式は、教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「基本研修・職務研修」よりダウンロードする。

- (1) 「授業実践研究の概要（案）」（様式1）A4判たて、1ページ程度  
コードNo.215のグループ協議時に、7部持参する。
- (2) 「授業実践研究の概要」（様式1）A4判たて、1ページ程度  
コードNo.215の研修で得たことを踏まえて作成し、5月31日（金）までに下記のとおり提出する。  
〈提出方法〉  
教育総合研究所ホームページ「Plant」→「研修申込状況」→「【3年目研修】No.○○○」  
→「課題・アンケート一覧」から提出する。  
※詳しくは「Plant」TOP画面に掲載予定の「マニュアル」を参照  
ファイル形式：PDF  
ファイル名：職員番号（6桁半角）【勤務校略称\_氏名（フルネーム）】概要  
例） 012345【福井小\_春江太郎】概要
- (3) 「授業実践研究の中間まとめ」（様式2）A4判たて、3ページ程度  
10月3日（木）までに(2)と同様の提出方法で提出する。  
ファイル形式：PDF  
ファイル名：職員番号（6桁半角）【勤務校略称\_氏名（フルネーム）】中間まとめ  
コードNo.261b（10、11月クロスセッション）の際に7部持参する。
- (4) 「授業実践研究のまとめ」（様式2）A4判たて、5ページ程度  
コードNo.262（1、2月クロスセッション）の際に7部持参する。  
1、2月クロスセッション受講後、一週間以内に(2)と同様の提出方法で提出する。  
ファイル形式：PDF  
ファイル名：職員番号（6桁半角）【勤務校略称\_氏名（フルネーム）】まとめ

# 福井県教員育成指標

自らの個性を發揮し、人生を切り拓くために  
挑戦し続ける人

## 福井の教育が目指す育てたい人間像

多様な人々の存在を認め、  
協働して新たな価値を生み出す人

ふるさとや自然を愛し、  
いつどこにいても社会や地域に貢献する人

## 福井が求める教師像

校種・教科等に関する  
専門的知識・実践的スキル  
を持った人

専門分野に偏らない幅広い教養を身に付け、  
自立した社会人としての良識や  
幅広い視野を持った人

子どもたちはもとより、同僚や家庭、  
地域社会と円滑な人間関係を築き、  
課題に対して臨機応変に対応できる人

教育に対する情熱・使命感に  
燃え、常に学び続ける  
向上心を持った人

資質・能力	ステージ	福井県が求める採用時の姿	第1ステージ			第2ステージ			第3ステージ			ステージ	管理職
			教員としての基盤を固める	中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする	資質・能力	トップリーダーとして教育活動を推進する						
素 養	教育的愛情 使命感 責任感	・子どもに対する愛情 ・教職への情熱	・子どもの個性を尊重し、夢と希望、豊かな人間性を育む熱意 ・教職に対する使命感、誇り、責任感	・学校教育を牽引する使命感、責任感	・組織的な運営を行う使命感、責任感 ・学校経営に積極的に参画する責任感	教育的愛情 使命感 責任感	・将来を担う子どもの成長に資する使命感や責任感の深い自覚 ・よりよい学校教育の実現に向けた努力						
	倫理観 人間性 社会性	・高い人権意識 ・豊かな人間性、広い視野 ・社会人としての一般常識	・確かな人権感覚、子どもの模範となる倫理観 ・人間的な魅力の涵養、信頼関係の構築(子ども、教職員、家庭、地域社会 など) ・謙虚な姿勢、法令の遵守、服従の誠実かつ公正な遂行 ・市民としての役割の遂行と積極的な社会参画	・多様な授業形態を工夫した個別最適な学びや協働的な学びの深化	・多様な授業形態を工夫した個別最適な学びや協働的な学びの深化 ・資質・能力を培う授業の提案 ・学校全体の授業力向上に係る企画 ・学校内での実践を高める指導、助言	倫理観 人間性 社会性	・豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成 ・子どもや教職員の示範となる言動 ・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築						
	コミュニケーション 学び続ける力 探究心	・他者との意思の疎通と協働 ・学びの専門家としての学び続ける意欲 ・多様な社会体験への挑戦	・同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間意思の疎通と共通理解、合意形成の推進 ・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通	・自らの実践の深化と改善 ・学校内や専門分野における研究の牽引 ・若手教員の指導への積極的な関わり	・自らの実践の深化と改善 ・学校内や専門分野の組織的な研究の運営 ・教職員の資質・能力を高める指導、助言	素 養	・明確な教育理念と省察による自己の職能の成長 ◎正確で迅速な情報収集、整理、分析、共有(アセスメント) ・的確な判断を行う力 ・教育情報や国の動向、時代の流れの的確な把握						
学 習 指 導 力	教科等の専門性	・教科等を学ぶ意義の理解 ・教科等での培う力の把握	・教科等において、多面的・多角的な視点での研究の推進と専門性の向上 ・カリキュラムマネジメントの視点での研究の推進 ・福井の未来の担い手となるために、教科等において、人間性を育む教育を推進 ・幼・小・中・高を通じた学びの接続の視点での研究の推進 ・子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究	・省察をもとにした授業改善 ・教科等の特性や本質の追究 ・主体的・対話的で深い学びの実現 ・多様な授業形態を工夫した個別最適な学びや協働的な学びの実現 ・教科等横断的なカリキュラムデザイン ・校内研究の中核として授業実践を牽引 ・若手教員への授業力向上を高める指導、助言	・広い視野での授業改善 ・教科等の特性や本質を理解した実践 ・主体的・対話的で深い学びの深化 ・多様な授業形態を工夫した個別最適な学びや協働的な学びの深化 ・資質・能力を培う授業の提案 ・学校全体の授業力向上に係る企画 ・学校内外の教職員への指導、助言	学 習 指 導 力	・幅広い教養と高い専門性、幅広い視点で、新たなものを創造する力 ・教職員の日常的な意見交換や情報共有をもとにしたよりよい民主的な職場環境の構築 ◎教職員同士および学校と家庭、地域、関係機関の相互作用による教育力の最大化(アシリエーション)						
	授業力	・教科等の基礎的な授業力 ・主体的・対話的で深い学びへの理解 ・探究的な学びの計画、立案	・教科等の特性や本質の理解 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた楽しくわかる授業 ・多様な授業形態を取り入れた個別最適な学びや協働的な学びへの工夫 ・主体的・対話的で深い学びへの工夫 ・指導と評価の一体化に基づく実践 ・子どもの学びの見取りの意義と実践 ・校内研究への主体的な取組み、積極的な授業公開の実施	・省察をもとにした授業改善 ・教科等の特性や本質の追究 ・主体的・対話的で深い学びの実現 ・多様な授業形態を工夫した個別最適な学びや協働的な学びの実現 ・教科等横断的なカリキュラムデザイン ・校内研究の中核として授業実践を牽引 ・若手教員への授業力向上を高める指導、助言	・広い視野での授業改善 ・教科等の特性や本質を理解した実践 ・主体的・対話的で深い学びの深化 ・多様な授業形態を工夫した個別最適な学びや協働的な学びの深化 ・資質・能力を培う授業の提案 ・学校全体の授業力向上に係る企画 ・学校内外の教職員への指導、助言		創造的に思考する力 コミュニケーション力						
	福井の教育力を支える研究・連携	・福井の教育の特長の理解 ・「ふるさと福井」を大切に思ふ心	・子ども自身がその個性に気づき伸ばしていけるような「引き出す教育」、学びが自ら進んで「楽しむ教育」を進めるための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築 ・縦も教科担任制の運営、教科の学びの系統性の構築 ・幼・小・中・高の接続の視点を持った教育の推進 ・研修や自主研究会への主体的な参画 ・教員間の世代間交流による優れた教育力の継承	・授業でのICTや情報・教育データの積極的な活用 ・生徒指導、校務など学校全体でのICTの積極的な活用の推進 ・子どもの情報活用能力を育成する授業の工夫	・チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進		・チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導の企画、運営	業務改善 (働き方改革に向けて)	・教職員の勤務時間の把握 ・勤務時間を意識した教職員の働き方の徹底と職場環境の構築 ・教職員の業務の明確化と外部人材活用、外部業務委託の推進 ・PTAや地域の理解を得るための取組				
生 徒 指 導 力	ICTや情報・教育データの活用	・ICT活用の理解 ・ICT活用の技能	・授業でのICTや情報・教育データの積極的な活用 ・生徒指導、校務など学校全体でのICTの積極的な活用の推進 ・子どもの情報活用能力を育成する授業の工夫	・子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進	・チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導の企画、運営	生 徒 指 導 力	・学校環境の特性と課題の把握、学校運営のビジョンの明示 ・学校評価を分析して学校運営のビジョンとスクールプランを策定する力 ・スクールプランを実現する具体的な方策の決定 ・組織運営に関わる内部及び外部環境の把握と強みを生かした戦略的な組織づくり ・一人一人の教職員が意欲を持って活動できる機会の構築、適性に応じた職務の分掌による組織運営 ・家庭、地域と連携した学校づくり ・子どもの個性、特性に応じた指導、支援を徹底する組織づくり ・GIGAスクール構想の実現に向けたリーダーシップの発揮 ・特別支援教育のコーディネート力の向上と組織的なインクルージョン教育の推進						
	特別な配慮を要する幼児・児童・生徒への対応	・子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の基本的な知識	・子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の理解、実践 ・合理的配慮に対する理解、実践	・子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進	・チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導の企画、運営		組織マネジメント	◎教職員の資質・能力や適性の把握とキャリアパスへの助言 ・目標管理と面談、報告・連絡・相談を通じた教職員の現状の把握と業務に対する的確な指導 ・教職員の持ち味や新しいアイデア等の学校運営への活用 ・教職員とのコミュニケーションと同僚性、協働性を高める人材育成 ◎対話に基づく主体的な研修受講奨励					
	幼児・児童・生徒理解	・子どもたちの多様性を踏まえた、一人一人の子どもの理解の重要性の認識 ・子どもの発達段階への理解 ・一人一人に向き合う意識	・子どもの個性、特性の理解 ・インクルージョン教育の視点で踏まえた、認め合い高め合う学級経営の実践 ・合理的配慮に対する理解、実践	・学級および学年全体の子どもへの理解 ・学年の生徒指導の中核として、子どもの個性、特性に応じた諸課題への対応	・チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導の企画、運営		・チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導の企画、運営	教職員理解 人材育成	◎安全な環境での教育活動の展開 ・生徒指導上の問題行動の未然防止に対する教職員の指導、助言および適切な対応 ・学校安全マニュアルの遵守、施設の点検、安全管理の検証、徹底 ・危機管理マニュアルに基づき、トップリーダーとして校内組織と関係諸機関との連絡、調整 ・地域社会との協力関係の構築、危機管理体制の整備				
マ ネ ジ ム ン ト ・ 人 材 育 成	業務改善 (働き方改革に向けて)	・効率的な時間管理に対する意識	・自己の勤務時間の管理 ・PDCAサイクルを意識した、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・業務効率化のための積極的なICT等の活用と推進	・チームの中核として、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・校務分掌や学年活動における会議や行事等の精査と精選の提案と実践	・チームの責任者として、若手や中堅教員に対する働き方への示範と助言 ・学校教育活動全体の精査と精選の具体的な提案と組織的な実践	マ ネ ジ ム ン ト ・ 人 材 育 成	・安全な環境での教育活動の展開 ・生徒指導上の問題行動の未然防止に対する教職員の指導、助言および適切な対応 ・学校安全マニュアルの遵守、施設の点検、安全管理の検証、徹底 ・危機管理マニュアルに基づき、トップリーダーとして校内組織と関係諸機関との連絡、調整 ・地域社会との協力関係の構築、危機管理体制の整備						
	学級経営 学年経営 学校経営	・理想とする学級像の形成	・一人一人の子どもが活躍し、互いを認め合い安心してすごせる学級経営 ・スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践 ・報告・連絡・相談による教職員間の協働	・学年のリーダーとして率先して協働的活動を牽引 ・スクールプランの達成に向けて、中核として学校を牽引 ・カリキュラムマネジメントを意識した協働的活動の牽引 ・若手教員の抱える課題の理解、支援	・学級間、学年間の連携を意識した学校経営への参画 ・スクールプランの達成に向けて学年や分掌の責任者としての組織的な運営 ・カリキュラムマネジメントの視点での組織的な運営 ・協働するネットワークの構築と指導、助言		学校安全 危機管理	・学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育活動の展開 ・生徒指導上の問題行動の未然防止に対する教職員の指導、助言および適切な対応 ・学校安全マニュアルの遵守、施設の点検、安全管理の検証、徹底 ・危機管理マニュアルに基づき、トップリーダーとして校内組織と関係諸機関との連絡、調整 ・地域社会との協力関係の構築、危機管理体制の整備					
	社会の変化への対応	・学校現場の現状の理解 ・社会情勢(国際感覚・多様性)に対する理解	・学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する理解	・学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策の提案と実践	・学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策の提案と実践		・学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策の提案と実践	学校安全 危機管理	・学校の実態に合わせた計画的な教育環境整備と設備・備品等の充実 ・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理				
連 携 協 働	学校安全管理	・学校安全、危機管理に関する基礎的な知識、理解	・学級や集団の適切な安全管理 ・勤務校の危機管理体制に対する理解	・チームの中核としての学校安全、危機管理上の課題への対応 ・適切な安全管理、結果を予測した危機管理の徹底	・チームの責任者としての学校安全、危機管理上の課題への対応 ・適切な安全管理、結果を予測した危機管理の徹底	連 携 協 働	・スクールプランや学校評価の家庭や地域社会への効果的な発信と意見集約 ・家庭や地域社会の学校への期待、関心の把握と教育活動への活用 ・地域の教育資源の積極的な活用						
	人材育成	・様々な課題に対応する力	・学校内外の研修や自主研究への参画	・若手教員に対する指導、助言	・校内研修、自主研究の企画、運営		家庭や地域社会との連携・折衝						
福 井 の 力	「ふるさと福井」の教育	・「ふるさと福井」への理解 ・福井の教育をよりよくしていく心と態度	・福井の教育の充実に向けて、「ふるさと福井」を学び続ける態度と自己啓発力(「ふくい愛」)の向上 ・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「ふるさと福井の先人 100人」 「古典音楽・暗唱ノット」 「郷土新聞」 「NIE」 など)	・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「ふるさと福井の先人 100人」 「古典音楽・暗唱ノット」 「郷土新聞」 「NIE」 など)	・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「ふるさと福井の先人 100人」 「古典音楽・暗唱ノット」 「郷土新聞」 「NIE」 など)	福 井 の 力	◎「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「ふるさと福井の先人 100人」 「古典音楽・暗唱ノット」 「郷土新聞」 「NIE」 など)						

「◎」は特に校長に関すること